

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(4月5日から4月11日回答分)

	症例数	手術	
陽性	1	腹部外科	1

COVID-19疑い患者	1	緊急手術を要する疾患	1
--------------	---	------------	---

事前シミュレーション実施	あり	0
	なし	2

手術室で気管挿管 (喉頭展開1回で挿管)	2 (2)	McGRATH	2
区域麻酔	0		
既挿管	0		
記載なし	0		
SGA	0		

PPE	フェイスシールド	1
	ゴーグル	1
	シールド付きマスク	0
	記載なし	0

N95	2
PAPR	0
サージカルマスク	0
手袋2枚	2
手袋1枚	0

自由記載

陽性	腹部手術	物品の準備が不慣れであった。定期的なシミュレーションが必要。
----	------	--------------------------------

疑い	緊急手術を要する疾患	患者にサージカルマスクをさせて区域麻酔。全身麻酔は3分は純酸素で酸素化をして換気をせず必ずビデオ喉頭鏡で気管挿管。抜管時は飛沫防止にポリエチレンなどのプラスチックシートで患者の顔を覆い必要なら口腔内吸引をおこない、気管吸引は閉鎖式をおこない、気管チューブを抜管する。困ったことは陰圧手術室のないこと、手術後の清掃に時間がかかること。メモなどの持ち込み、持ち出しができないこと。麻酔記録は紙なのでスキャナーで電子カルテに取り込まれるまで確認ができないこと。
----	------------	---